

春日井市民病院

～更なる高みを目指して～

～*Aim Higher Goals*～



● 救急ローテートでは、救急搬送200件以上を経験できる。

救急科では、上級医の指導のもと日勤帯（8:30-17:15）の全ての救急搬送されてきた患者の初期対応から専門医に引き渡すまでの一連の診療行為を行います。1日およそ10から20台近くの救急搬送者を診るこのローテートは当院のローテートの中で最も大変なものです。しかし、この研修を終えた研修医たちは明らかに医師として目覚ましい成長を遂げています。



研修管理室長
プログラム責任者
腎臓内科主任部長
坂 洋祐

● 外科ローテートでは、手術助手として手術に参加できる。

外科では、朝の点滴キープから始まり、あらゆる外科手術を体験していきます。当院の外科は東海圏内でもトップクラスの症例数を誇っており、質の高い手術に助手として参加します。さらに虫垂炎などの手術は執刀医として活躍できるのも特徴です。手厚い指導のもと、ここでは決してできない手技はありません。研修医としてあらゆる手技を数多く体験することができます。

● 内科ローテートでは、実際に診察し、治療計画を作成できる。

当院の内科には、ありとあらゆる疾患が集まってきます。肺炎などのCommon diseaseから大学などでしか診ることのないような珍しい疾患まで、症例は豊富です。そんな内科での研修では、入院から退院まで一貫して診療に参加することが可能です。高齢者の肺炎などのCommon diseaseの診療では、抗生剤や輸液、食事の選択などを実際に研修医が考え、指示を出すこともあります。内科の研修は上級医の真似事をするのではなく、実際に研修医が自分で考え、患者を診察し、診療プランを作成します。Generalistとして最も成長できる期間となっています。

1年目

内科6科 消化器 腎臓 糖尿病・内分泌 呼吸器 循環器 脳神経 各4週	小児科 4週	救急部門 (救急科) 4週	外科 4週	救急部門 (麻酔科) 4週	産婦人科 4週	整形外科 4週
---	-----------	---------------------	----------	---------------------	------------	------------

2年目

脳神経外科 4週	麻酔科 4週	地域医療 4週	精神科 4週	救急部門 (救急科) 4週	障害医療・ 療育 1週間	選択科 27週
-------------	-----------	------------	-----------	---------------------	--------------------	---------

救命救急センター Emergency & Critical Care Center

学び、伝える責任感 伝統の屋根瓦方式

長年、決して断らない救急を貫いてきた春日井市民病院を支えてきた屋根瓦方式。1年目は学び、そして2年目からは、知識、技術、精神を後輩に伝えていく。Teaching is learning twice. 昼間には上級医や指導医から学び、そして救急当直で後輩達に教えていく中で、研修医は育つ。

愛知県トップクラス(2020年)の

- ・救急搬送件数 **8,721台**
- ・重篤患者率 **19.3% (1679名)**

当直では研修医が主役

診療科のスペシャリストが少なくなる当直帯こそ、研修医が第一線で患者と向き合わなければならない時間であり、最も成長できる時間だ。春日井市民病院は、新生児から高齢者、妊婦、高エネルギー外傷まで、あらゆる患者の初期対応を研修医にも委ねている全国でも数少ない病院だ。

さらにコロナ禍の2020年においても年間救急搬送件数8,721台：愛知県下救命救急センター中第4位、重篤患者数1679名（救急搬送者の19.3%）：救急搬送数トップ10施設中第1位という症例数を経験できる当院だからこそ、充実した当直ができる。

春日井市民病院の救急当直研修

* あらゆる年齢層の方の診察ができる！

名古屋市郊外に位置する春日井市は、名古屋圏内で働く人々が多く居住する人口31万人のベッドタウンです。昼間は名古屋圏内の職場へ、そして夜間は春日井市に戻ってきます。つまり研修医達の活躍する当直帯に人口が最も多くなるので、**あらゆる年齢層の方が救急を受診**します。夜間は、本当のプライマリケアを学ぶことができるチャンスです。

* 強力な上級医のバックアップ

春日井市民病院では、あらゆる患者のファーストタッチが研修医にまかされています。それは、決して楽なものではありません。しかし、春日井市民病院で研修した多くの医師が3年目以降も残って活躍しており、彼らは、その苦労をよくわかっています。だからこそ、上級医は適切に研修医を指導し、困難な症例には**ともに立ち向かって**くれます。

* 優秀なコ・メディカルと組む救急チーム！

救急診療は決して医師だけではありません。看護師、放射線技師といったコ・メディカルのスタッフとの連携プレーが重要です。医師と共に困難な症例に挑んでくれるコ・メディカルスタッフがいることが春日井市民病院の救急の自慢です。そして、そんな救急は研修医にとって最も成長できる場所となります。

春日井市民病院の**決して断らない救急**を貫いてきた伝統がここにあります。

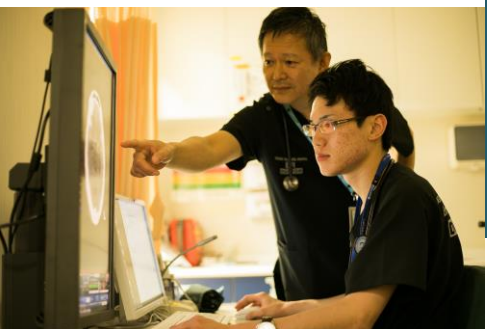
部長からの

MESSAGE

当院救命救急センターは、1次から3次までのあらゆる救急患者に対応するER型救急体制で地域医療に臨んでいます。研修医の2年間は、ここが活躍の中心になると言っても過言ではありません。救急の現場は救命に直接携わることから、怖くて難しいという印象をもたれる方も多いと思いますが、救急医や各科専門医等の指導の下、全国屈指の数を誇る救急患者の診療に当たり豊富な症例を経験しながら、全員が確実に実力を付けていっています。増築されより広くなり機能も充実した救急室で一緒に学び体験して行きましょう。

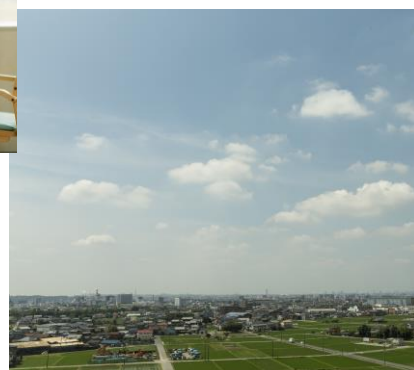


救命救急センター部長
近藤圭太医師



春日井市民病院 臨床研修プログラム

Kasugai Municipal Hospital Resident Program



春日井市民病院の臨床研修プログラムは、2年間で内科6科（腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科）をそれぞれ4週間ずつ、救急科12週（救急部8週間、麻酔科4週間）、地域医療4週間、障害医療・療育1週間、外科4週間、小児科4週間、産婦人科4週間、精神科4週間、麻酔科4週間、整形外科4週間、脳神経外科4週間、一般外来4週間を含む履修をします。

1年目ローテート表

期間	4/8~5/16	5/17~6/13	6/14~7/11	7/12~8/8	8/9~9/5	9/6~10/3	10/4~10/31	11/1~11/28	11/29~1/2	1/3~1/30	1/31~2/27	2/28~3/31
氏名												
A	腎臓内科	糖尿病・内分泌内科	救急部門(救急科)	脳神経内科	循環器内科	消化器内科	産婦人科	外科	呼吸器内科	小児科	脳神経外科	救急部門(麻酔科)
B	救急部門(麻酔科)	腎臓内科	糖尿病・内分泌内科	救急部門(救急科)	脳神経内科	循環器内科	消化器内科	産婦人科	脳神経外科	外科	小児科	呼吸器内科
C	呼吸器内科	救急部門(麻酔科)	腎臓内科	糖尿病・内分泌内科	救急部門(救急科)	脳神経内科	循環器内科	消化器内科	産婦人科	整形外科	外科	小児科
D	小児科	呼吸器内科	救急部門(麻酔科)	腎臓内科	産婦人科	救急部門(救急科)	脳神経内科	循環器内科	消化器内科	糖尿病・内分泌内科	整形外科	外科
E	外科	小児科	呼吸器内科	救急部門(麻酔科)	腎臓内科	糖尿病・内分泌内科	救急部門(救急科)	脳神経内科	循環器内科	消化器内科	産婦人科	脳神経外科
F	整形外科	外科	小児科	呼吸器内科	救急部門(麻酔科)	腎臓内科	糖尿病・内分泌内科	救急部門(救急科)	脳神経内科	循環器内科	消化器内科	産婦人科
G	脳神経外科	産婦人科	外科	小児科	呼吸器内科	救急部門(麻酔科)	腎臓内科	糖尿病・内分泌内科	救急部門(救急科)	脳神経内科	循環器内科	消化器内科
H	消化器内科	整形外科	産婦人科	外科	小児科	呼吸器内科	救急部門(麻酔科)	腎臓内科	糖尿病・内分泌内科	救急部門(救急科)	脳神経内科	循環器内科
I	糖尿病・内分泌内科	脳神経外科	循環器内科	消化器内科	外科	小児科	呼吸器内科	救急部門(麻酔科)	腎臓内科	産婦人科	救急部門(救急科)	脳神経内科
J	脳神経内科	循環器内科	消化器内科	産婦人科	整形外科	外科	小児科	呼吸器内科	救急部門(麻酔科)	腎臓内科	糖尿病・内分泌内科	救急部門(救急科)
歯科研修医1	4/7~ 歯科口腔外科						皮膚科	循環器内科	耳鼻咽喉科 11/5-	腎臓内科 12/13-	12/27~ 歯科口腔外科	
歯科研修医2	4/7~ 歯科口腔外科								皮膚科 1/3-	耳鼻咽喉科	循環器内科	腎臓内科

●内科4週×6科 ●救急部門8週(うち麻酔科4週) ●外科4週 ●小児科4週 ●産婦人科4週 ●整形外科または脳神経外科4週

2年目ローテート表

期間	4/1~5/16	5/17~6/13	6/14~7/11	7/12~8/8	8/9~9/5	9/6~10/3	10/4~10/31	11/1~11/28	11/29~1/2	1/3~1/30	1/31~2/27	2/28~3/31				
氏名																
A	消化器内科 泌尿器科 内分泌科 4/26-	救急科 (救急科)	脳神経外科	耳鼻咽喉科 生体療法科 7/26-9/6	モリヤマ 総合心臓病棟 9/9-9/23	外科	皮膚科 救急センター 10/10-	腎臓内科 救急センター 10/10-	耳鼻咽喉科 生体療法科 11/15-26	救急科 (救急科)	泌尿器科	血液外科 1/17-	救急科 救急センター 2/14-25	外科		
B	放射線診断科 泌尿器科 4/19-	外科 5/8-	呼吸器内科 5/24-	脳神経外科	救急科 救急センター 7/12-23	脳神経外科	消化器内科	モリヤマ 総合心臓病棟 9/6-10/1	腎臓内科	耳鼻咽喉科 生体療法科 11/15-26	救急科 (救急科)	呼吸器内科	産婦人科	皮膚科		
C	外科	産婦人科	皮膚科	脳神経外科	救急科 救急センター 8/9-20	生体療法科 8/29-9/9	呼吸器内科	モリヤマ 総合心臓病棟 10/4-29	救急科 (救急科)	循環器内科	救急センター 1/1-	泌尿器科 内分泌科	耳鼻咽喉科			
D	救急科 (救急科)	皮膚科	救急科 救急センター 8/14-25	生体療法科 8/26-7/9	皮膚科	腎臓内科	泌尿器科 8/16-	脳神経外科	救急センター 10/10-	外科	モリヤマ 総合心臓病棟 11/1-26	眼科	泌尿器科 内分泌科 12/18-	産婦人科	小児科 心臓病棟 12/18-	
E	産婦人科 4/1-25	放射線診断科	生体療法科 5/17-23	救急科 救急センター 5/31-6/11	泌尿器科 内分泌科	産婦人科	皮膚科	血液外科	救急科 (救急科)	循環器内科	脳神経外科	モリヤマ 総合心臓病棟 11/29-12/24	腎臓内科 12/27-1/23	救急センター 1/2-	消化器内科	小児科 心臓病棟 1/2-
F	耳鼻咽喉科	循環器内科	消化器内科	救急科 (救急科)	呼吸器内科	産婦人科	泌尿器科 内分泌科	救急科 救急センター 10/4-15	生体療法科 10/18-29	脳神経外科	救急センター 11/2-	小児科 心臓病棟 12/6-19	皮膚科 12/20-1/9	モリヤマ 総合心臓病棟 1/11-2/4	腎臓内科 2/7-	消化器内科
G	腎臓内科	モリヤマ 総合心臓病棟 5/6-23	生体療法科 6/11	消化器内科	救急科 (救急科)	呼吸器内科	産婦人科	脳神経外科	泌尿器科 内分泌科	救急センター 12/1-	耳鼻咽喉科 12/15-1/15	救急科 救急センター 1/17-23	皮膚科	眼科		
H	眼科	小児科 心臓病棟	脳神経外科	モリヤマ 総合心臓病棟 6/14-7/9	脳神経外科	救急科 (救急科)	血液外科	産婦人科	生体療法科 11/1-12	皮膚科	救急センター 12/1-	泌尿器科 12/20-1/9	泌尿器科 1/16-30	救急科 救急センター 2/10	呼吸器内科	脳神経外科
I	脳神経外科	皮膚科	腎臓内科	外科	モリヤマ 総合心臓病棟 7/12-8/6	耳鼻咽喉科	救急科 救急センター 9/6-17	10/1	泌尿器科	産婦人科	救急科 (救急科)	救急センター 1/3-	心臓病棟	血液外科		
J	脳神経外科	耳鼻咽喉科	産婦人科	消化器内科	脳神経外科	皮膚科	救急センター 9/2	救急科 (救急科)	放射線診断科	泌尿器科	救急科 救急センター 12/10	生体療法科 12/18-24	血液外科 12/27-	外科	モリヤマ 総合心臓病棟 2/7-9/4	脳神経内科
歯科研修医1	歯科口腔外科						耳鼻咽喉科	皮膚科	腎臓内科	産婦人科						
歯科研修医2	産婦人科				腎臓内科	皮膚科 8/28-9/5	耳鼻咽喉科	歯科口腔外科								

■産婦人科4週 ■救急科(救急科)4週 ■脳神経外科モリヤマ総合心臓病棟4週 ■眼科1週

■脳神経科4週(モリヤマ総合心臓病棟) ■消化器内科4週(市立生体療法科) ■救急科救急センター1週 ■産婦人科救急科救急センター中央病棟

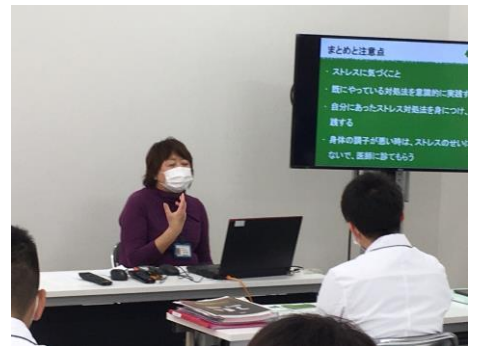
オリエンテーション



オリエンテーション内容

研修に入る前に3~4日をかけてオリエンテーションを実施

- ・院長からの辞令交付
- ・研修管理室長から心構えや姿勢について
- ・研修の進め方
- ・研修に必要な基礎知識(各診療科医師より)
- ・研修評価(EPOC2使用)入力の説明
- ・電子カルテの使い方
- ・ストレスマネジメント 等



4月に行われるICLSを始めとしたテクニカル教育も充実



オルソグラスによる固定



採血・血管確保



ICLS:電気ショック



ICLS:BVM換気

その他のテクニカル教室

縫合教室
痛み止めについて
挿管手技
心エコー
腹部エコー
導尿
中心静脈カテーテル挿入
輸血 等の研修も行っています。
研修の希望があれば、どんどん企画します。



個人用防護具(PPE)使用法

院内勉強会

研修医のための救急医療勉強会：週1回

救急勉強会：月1回

内科合同勉強会：月2回

医師合同勉強会：隔月1回

C P C：年6回

カンサーオープンカンファレンス：月1回

カンサーボード：月1回

医療安全対策院内講習会

院内感染予防対策勉強会：年2回

研修医のための救急医療勉強会（毎週火曜日）

1年目の研修医が発表を行い、担当講師から教訓となる症例の解説や、日常診療で注意すべき点、ローカルルールなど当院の救急外来での診療の実態にあわせたアドバイスが受けられます。

テーマ

急性冠症候群/心不全

失神・不整脈の救急対応

内科診断学

喘息とアナフィラキシー

けいれん

小児の蘇生術

外傷を中心とした脳外科救急患者について

呼吸器疾患の救急対応

カリウム異常の救急対応

糖尿病・内分泌疾患の救急患者について

虫垂炎の見方

腸閉塞

神経内科疾患の救急対応

救急における泌尿器科疾患

大量出血症例の治療戦略

DAM症例におけるデバイスの使い方

皮膚科の救急

救急外来における腰痛の見方

歯科口腔外科疾患の救急対応

初期臨床研修医・専攻医の処遇

区分		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
		(初期臨床研修1年目)	(初期臨床研修2年目)	(専攻医1年目)	(専攻医2年目)	(専攻医3年目)	
身分		研修医(会計年度任用職員)		専攻医(常勤医師)			
年収		約6,500,000円	約7,900,000円	約10,900,000円	約11,100,000円	約11,300,000円	
当直		約月6回(当直明けは、朝から職務免除あり)		約月2~3回(半日の職務免除あり)			
期末手当	6月	約121,100円	約459,000円	約895,000円	約924,000円	約958,000円	
	12月	約403,680円	約459,000円	約895,000円	約924,000円	約958,000円	
退職手当		約550,000円		約1,000,000円			
		※研修医2年目終了時に当院を退職する場合に支給		※5年間在職(研修医2年+専攻医3年)の場合の金額			
福利厚生	健康保険	全国健康保険協会(※)		愛知県都市職員共済組合			
	年金	厚生年金					
	労務災害	労働者災害補償保険		地方公務員災害補償基金			
	年次休暇	12日			20日		
	その他の休暇	厚生休暇年3日 結婚休暇、産前・産後休暇、忌引休暇 等		厚生休暇年6日、結婚休暇、産前・産後休暇、忌引休暇 等			
	健康管理	健康診断年2回、採用時感染症抗体面検査、HBワクチン接種 等					
	研修医宿舎家賃	宿舎月額：22,000円 駐車場月額：2,000円					

※健康保険は、令和4年10月1日付けの制度改正により研修医1年目から愛知県都市職員共済組合に加入します。

研修医の出身大学

左記以外の出身大学(過去7年間)

出身大学	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
名古屋大学	1		2	3
名古屋市立大学	2	2	1	5
愛知医科大学	1	1	1	3
藤田医科大学	1	2	2	5
三重大学	1	2		3
浜松医科大学	1		1	2
信州大学	1			1
昭和大学		1		1
埼玉医科大学	1	1		2
大阪市立大学	1			1
関西医科大学		1		1
香川大学			1	1
帝京大学			1	1
富山大学			1	1
合計	10	10	10	30

新潟大学
福井大学
金沢医科大学
岐阜大学
滋賀医科大学
川崎医科大学
高知大学
山口大学
琉球大学
山形大学
北里大学

初期臨床研修終了後、当院で専門研修に進んだ人数

令和3年度	6人
令和2年度	4人
令和元年度	6人
平成30年度	3人
平成29年度	7人
平成28年度	8人
平成27年度	5人

実際に当院で研修した研修医の**声**を集めてみました。

症例数が圧倒的すぎる。珍しい症例もたくさん
経験できた。医師としての基礎体力がつく。

夜間の救急は、常に気が抜けない。「この患者さんの生活環境は？今このまま帰したら、一人で亡くなってしまうのでは？」という方もある。医学的なことはもちろん、患者さんの生活環境まで常に考えるようになった

当直中、困ったときに嫌な顔ひとつせず「いつでも呼んで」と2年目の先生に声をかけてもらい、自分もこんな先輩みたいになりたいと思いました。

どんな症例でも度胸がついた。

2年目の先生の実力が圧倒的すぎた。

当院臨床研修医の



6月から処方、帰宅判断を任される
責任感。だからこそ本気で勉強し
た。そんな環境がここにはある。

診察中に突然の不整脈で患者さんが心肺
停止したとき、自然と体が動くよう
になった。

基本的に当直明けは休み。残って
いると「なんでまだいるの？帰っ
ていいよ！」と言ってもらえる。
時間外の手当はきちんともらって
いる。

ここは**名**研修病院だと思う。

勉強会も豊富だった。研修医だけでなく、上級医も
積極的に参加されていて、研修医を本当に大事にし
てくれている病院だと思った。

病院設備



贅沢な一杯を味わえるコーヒーショップ



研修医が最も活躍する救急初療室



救急病棟



CT撮影室

病院まで徒歩1分の好立地 Resident House

研修医宿舎

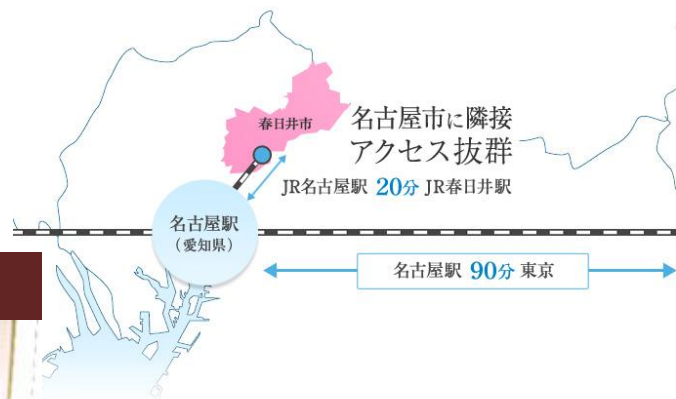


LIVING ROOM



安らぎの空間

オール電化、安心のセキュリティーエントランスを実現した研修医宿舎。自分だけの空間を楽しめる防音性の高さ。最上級の安らぎを研修医に与えてくれます。



BATH ROOM



KITCHEN



春日井市民病院の情報はホームページとフェイスブックでご覧いただけます。



春日井市民病院
Scroll ↓



facebook

春日井市民病院
春日井市民病院 研修医情報サイト



春日井市民病院

Kasugai Municipal Hospital

〒486-8510

愛知県春日井市鷹来町1丁目1番地1

Tel 0568-57-0057 Fax 0568-57-0067

春日井市民病院の研修医が当院の良さを知ってもらうために作製しました。

見学をいつでもお待ちしております。

詳しくはホームページへ QRコードでも読み取れます。

<https://www.hospital.kasugai.aichi.jp/kensyui/>



臨床研修医パンフレット

2022年4月1日発行

発行者 春日井市民病院研修管理室

